

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	老年援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	2年生教室
担当教員	松本幸恵 三浦純子	実務経験とその関連資格	医療施設の病院で看護師として働いていた			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 老年期の身体、心理、社会的機能の特性をふまえ、老年期に代表的な障害や疾患をもつ高齢者への看護援助方法を身につける。特に障害や疾病が生活に及ぼす影響をとらえ、高齢者の生活の質を考えた援助方法について考える能力を身につける。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 出席状況、課題提出状況、筆記試験での総合的な評価						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> ①専門分野Ⅱ 老年看護学概論(南江堂) ②専門分野Ⅱ 老年看護学技術(南江堂) ③専門分野Ⅱ 成人看護学概論(南江堂) ④プチナース老年看護 ぜんぶガイド(照林社)□ □						
<b>《授業外における学習方法》</b> シラバスに沿って次回授業についての予習を行い授業に臨む。授業後は配布資料や教科書での復習を行う。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 高齢者の特徴や加齢に伴う身体機能の変化、高齢者とその家族を取り巻く現況や社会制度について復習しておくこと。老年援助論Ⅰで学んだ高齢者の日常生活援助についても復習し、理解したうえで本授業に臨みましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	1. 高齢者に特有な症候・疾患・障害に応じた看護が理解できる ・高齢者が経験する感覚機能障害について、症状の成り立ちと臨床的特徴、看護について理解できる		テキスト①②④ 配布資料	事前学習:テキスト第四章、「感覚機能障害」を読んで疑問を明確にしておく。白内障の病態生理、症状について復習しておく(30分) 事後学習:本日の講義をまとめて復習する(30分)	
	各コマにおける授業予定	症候のアセスメントと看護:感覚機能障害				
第2回	授業を通じての到達目標	1. 高齢者に特有な症候・疾患・障害に応じた看護が理解できる ・高齢者が経験する脱水、低栄養について、症状の成り立ちと臨床的特徴、看護について理解できる		テキスト①②④ 配布資料	事前学習:テキスト第四章、「脱水」「低栄養」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習:本日の講義をまとめて復習する(30分)	
	各コマにおける授業予定	症候のアセスメントと看護:脱水、低栄養				
第3回	授業を通じての到達目標	1. 高齢者に特有な症候・疾患・障害に応じた看護が理解できる ・高齢者が経験する皮膚掻痒感、痛みについて、症状の成り立ちと臨床的特徴、看護について理解できる		テキスト①②④ 配布資料	事前学習:テキスト第四章、「皮膚掻痒感」「痛み」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習:本日の講義をまとめて復習する(30分)	
	各コマにおける授業予定	症候のアセスメントと看護:皮膚掻痒感、痛み				
第4回	授業を通じての到達目標	1. 高齢者に特有な症候・疾患・障害に応じた看護が理解できる ・高齢者が経験する感染症について、症状の成り立ちと臨床的特徴、看護について理解できる		テキスト①② 配布資料	事前学習:テキスト第四章、「感染症」第V章「新たな動向と課題」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習:本日の講義をまとめて復習する(30分)	
	各コマにおける授業予定	症候のアセスメントと看護:感染症 感染症をめぐる今後の動向と課題				
第5回	授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい骨粗鬆症・骨折の看護が理解できる。		テキスト①②③④ 配布資料	事前学習:骨粗鬆症と骨折を読んで疑問を明確にしておく。また、大腿骨近位部骨折の病態生理・症状について復習しておく(30分) 事後学習:本日の講義をまとめて復習する(30分)	
	各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケア:骨粗しょう症、骨折				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい骨折の症状と看護が理解できる。	テキスト①②③④ 配布資料	事前学習:テキストV章。「リハビリテーション看護」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケアについて学ぶ:リハビリテーション看護(大腿骨頸部骨折)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすいパーキンソン病の症状と看護が理解できる。	テキスト①②③④ 配布資料	事前学習:テキスト第V章。「パーキンソン病」の病態生理・症状について復習しておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケアについて学ぶ:パーキンソン病		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	うつ、せん妄のある高齢者の症状や発症機序、看護について理解できる。	テキスト①②④ 配布資料	事前学習:テキスト第IV章。「うつ」「せん妄」を読んで疑問を明確にしておく 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	認知機能の障害に対する看護ケアについて学ぶ:うつ、せん妄		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の種類、中核症状、BPSDなどについて理解できる。	テキスト①②④ 配布資料	事前学習:テキスト第V章。「認知機能障害の看護」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	認知機能の障害に対する看護ケアについて学ぶ:認知症①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症がある高齢者への看護が理解できる。	テキスト①②④ 配布資料	事前学習 テキスト第V章。「認知機能障害の看護」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)□
		各コマにおける授業予定	認知機能の障害に対する看護ケアについて学ぶ:認知症②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい大腸がんの症状と看護が理解できる。	テキスト①② 配布資料	事前学習:テキスト第V章。「緩和ケア」を読んで疑問を明確にしておく。大腸がんの病態生理、症状について復習しておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケアについて学ぶ:緩和ケア(大腸がん)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	ストーマ管理の看護が理解できる。	実習室で行う。ストーマモデル・パウチ・洗浄ボトル・石鹸など	演習までに事前学習・目標・行動計画を記入しておく。演習後は振り返りを行う。
		各コマにおける授業予定	疾患を持つ高齢者への看護ケア:ストーマ管理		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者におけるエンドオブライフケアについて理解する。終末期における意思決定について考えることができる。	テキスト①②④ 配布資料	事前学習:老年期の発達課題について復習しておく。エンドオブライフケアについて自己学習しておく(30分) 事後学習 本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	高齢者の終末期における看護ケアについて学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬物療法を受ける高齢者の留意点と看護が理解できる。	テキスト①② 配布資料	事前学習:テキスト第三章。「薬物療法を受ける高齢者の看護」を読んで疑問を明確にしておく(30分) 事後学習:本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	治療を受ける高齢者の看護について学ぶ:薬物療法を受ける高齢者の看護		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者に多い症状・疾患について、事例を通してアセスメントができる。	実習室で行う。モデル人形、その他必要物品	演習までに事前学習・目標・行動計画を記入しておく。演習後は振り返りを行う。
		各コマにおける授業予定	シミュレーション演習		